

2023年あけましておめでとうございます！

兵庫スキー協理事長 和田利男

スキー協会員の皆さん、ご家族の皆さん新年あけましておめでとうございます。

皆さんにとって今年一年が良い年でありますように願っています。

政府の経済活動を止めない方針の元コロナ感染者や死亡者の増加の報道もなく全国的感染者が増加していますが、ワクチン接種の5回目の実施や飲み薬の開発普及によってコロナとの共存の段階に入り感染に気を付けながら普段の生活に戻れるように願っています。

2023スキーシーズンはね雪の少ない中 全国技術部会、中央研修会から始まり東京、関西ブロックの研修会など各地で旺盛に行事が展開されています。

兵庫でも、3年ぶりに少年少女スキー&年末スキーをけがなく無事に開催することができました。

正月明けから感染者も増加し今後の行事に影響しないか心配です。1月の指導員研修会&スキーフェスティバル2月の第60回スキーまつり、3月のカタツムリスキーバス、3月連休の各クラブの行事を無事終わらせることを望んでいます。

各地スキー協でもコロナ禍にあって様々な工夫でスキー行事を取り組んでいます。気を緩めることなく感染対策を万全に行って各クラブのスキー行事を楽しんでください。

コロナ禍の先の新しいスキー行事の在り方クラブの活動の在り方をみんなで考えていきましょう。今年もけがない安全スキーをよろしくお祈りします。

昨年は、コロナ禍ではありましたがキューピットバレーから4年ぶりに札幌で開催されZOOMを含め128名が参加をし成功させました。さらに24年ぶりに改訂された「スキー、スノーボードリーダーテキスト」が720部普及され各地で学習会などが開催されました。気候危機の影響かシーズン初めは小雪で中央研修会は大変苦勞されました。スキー板、用具の高騰、リフト代の値上がり、ガソリンの高騰などスキー離れに拍車をかけるような状況が続いていますが、2022-23シーズンを感染対策を万全に多くのスキーヤーとの交流を深めあいスキーの楽しさ、クラブの楽しさを多めに語り広げていきましょう。

今年もよろしく。

兵庫県スキー協議会 第47期 第4回理事会開催！

◎ 1月10日火曜日午後6時30分から8時まで 出席者 7クラブ13名

常任理事 和田・山口・岸本(ZOOM)・井澤[ナイスシニア]・道下・奥田・天野[エグレット姫路]・

クラブ代表理事 和田利六[パッション]・山口良宣[銀世界]・釣[Active]・中村(ZOOM)[どんぐり]

五島(ZOOM)[ドナルドダック]・村原(ZOOM)

1, 県スキーフェスティバル 2023年1月21日22日氷ノ山国際スキー場 参加者 29名

講師[和田・岸本・村原]3名、研修 14名、一般参加 10名、スタッフ 2名

2, 関西ブロック競技大会 2月4日5日氷ノ山国際常設レースバーン 宿泊「満月」

アドバイザー滋賀県 小島氏

3, 第60回記念兵庫県スキーまつり 2月9日(木)昼出発~12日(日)夜帰着 志賀高原一ノ瀬

申し込み状況 西播地区15名、東播地区10名、阪神地区18名、神戸地区13名 合計 56名

参加者を全クラブで後10名以上 募って下さい。

4, 第49回武庫川新春ロードレース大会 1月8日(日) 要員派遣 4名 大会責任者 和田理事長・

[パッション] 道下・根岸・藤井 ○エントリー 737名

□長野県リフト割引キャンペーンあります。naganoスマートパスで検索。スマホ専用のチケット引換。

今シーズンの初滑りはルスツ

< ゆきどり ルスツスキー報告 >

ゆきどりは、今シーズンの初滑りに2022.12.14~12.17まで北海道のルスツスキー場へ9名で行って来まし

た。12月14日(水) 神戸空港午前8時25分発のANAで新千歳空港へ。今期最初の寒波襲来のニュースに少し心配しましたが、空港に雪はなく12時30分発のホテル直行のバスに乗り、支笏湖付近から吹雪となり雪の情景を見ながら14時30分ホテル【ルスツリゾートホテル&コンベンション】に着、チェックインは3時過ぎとなりました。部屋から外を見ると相変わらずの吹雪、年のせいか滑走する気力も失せ、初日は「オクトーバーフェスト」のバイキングと大浴場を楽しみ夜9時過ぎに就寝しました。

12月15日(木) 6時過ぎに起床。天気は時折薄日がさし雲の合間に青空が見えるも予想どおり吹雪となりました。朝食は日本料理「雪花亭」の和定食。9時過ぎにスキーロッカーからホテル前のウエストMtのグレンデへ向かいました。この時、ロッカールームの出口に「出口専用」と記載されていたことから、高齢者特有の思い込みにとりつかれました。「出口専用」の記載から、別の場所に「入口専用」があると曲解しスキー終了後、「入口専用」を探すも見当たらずホテル別棟の入り口から約100m歩きスキーロッカーにたどり着くという失態でした。翌日、あら

ためて「出口専用」を通り見返すと左側に「入口専用」と記載されていました。通行をスムーズにするための分離と解り皆で大笑いです。ウエストMtのエバーコースを数回滑った後、ルスツのメイングレンデであるイーストMt～Mtイゾラへ連絡ゴンドラで



移動、イーストの山頂までのゴンドラは運休なのでイーストティーニューコースからイゾラのイゾラグランコースを数回滑りホテル前のウエストへ戻り終了しました。

スキーの後は温泉です。ホテル名物の「ルスツ温泉 ことぶきの湯」へ入りました。この温泉は、6階にあり露天風呂からは本来イーストMtからMtイゾラの全コースを見渡せるのに、残念ながら吹雪で視界は遮られていました。でも露天風呂廻りの積雪を見ながら、顔にかかる雪が火照った身体を冷ましてくれる絶妙の湯加減を楽しめました。夕食は再度のバイキングを味わい、部屋での交流会後11時就寝しました。

12月16日(金) この日も早朝は薄日がさすも吹雪。昨日と同じ「雪花亭」で朝食を済ませ、連絡ゴンドラでイゾラへ直行。イーストのイーストティーニューコースからイゾラ第2クワッドに乗りスティームボートAコースを下降、カフェテリア「スティームボード」に着きランチにしました。昼食後、温度を確認すると-10℃、山頂はそれ以上ネックウォーマーなど防寒対策を再確認し、イゾラ第1クワッドでいよいよイゾラの山頂へ。山頂(994m)は強風雪で視界も悪くみんな離れないようにしながら、ヘブンリービューコースを滑りました。天気良ければ、北に羊蹄山、南に洞爺湖が見える絶景のコースなのに、はぐれないように滑るのみでした。コース終点からイゾラ第3クワッドで再度頂上へ。今度はスティームボートBコースを滑り再びカフェテリアへ。小休止する間もなくイゾラ第1クワッドで三度山頂へ。山頂の天気回復は見込めず、イゾラグランコース～イゾラDコースを経てイーストへ戻り連絡ゴンドラでウエストへ帰りました。一応、運行しているリフト利用でイゾラ～イーストのメインコースを滑降した満足感を持って、ホテル前のファミリーコースを修学旅行生と滑り終

了しました。夕食は三日間バイキングで飽食状態。交流会を早めに切上げ9時過ぎに就寝しました。

12月17日(土) いよいよツアーも最終日。昨夜の交流会で「ルスツ温泉 ことぶきの湯」の話が出た際、石川敏雄さんが未体験とわかり、石川さんを「ことぶきの湯」で入浴してもらう方法を考えた。【ルスツリゾートホテル&コンベンション】はS字形で私たちの客室はS字の最も下部のサウスウイング5階で、「ことぶきの湯」はS字の最も上部のノースウイング右先端の6階、サウスからノースへは直接行けず5階から2階に降りホテル中央部を移動、ノースから6階に昇り数10mを歩かなければならない。雪上では自由自在に滑る石川さんは地上では歩くのが苦手、「そんな遠い温泉には行けない。」とのこと。閃いたのは「車いす」での移動。早朝、部屋からことみさんの押す「車いす」に乗り、ご機嫌な石川さん、思うより早く「ことぶきの湯」に着きました。展望は相変わらずの吹雪でしたが、露天風呂の湯ぶねの中にある、ゆったりと体を伸ばせる枕まで用意されているチェアがお気に入り、「ことぶきの湯」を十分に満喫されたようでした。露天風呂に浸かる目的は達成されました。朝食は、中華料理「歓天」の中華バイキングを味わいました。

天気は回復、朝から晴れ間が広がりましたが、11時のチェックアウトまでに帰る準備を考えると滑走は断念、グレードが高いと評判のタワーホテル【ウェスティン ルスツリゾート】見学となりました。モノレールに乗り1階ロビーでくつろぎました。タワーホテルはほとんどエレベーター利用なので歩くのは少なさそうです。私たちのホテルは、食事も入浴も歩いてばかりで万歩計は毎日6000歩以上でした。スキーに来たのだから運動か効率かです。

午後2時発の空港直行バスに乗り、4時に新千歳空港に着きました。空港でお土産を買い食事を済ませ、あとは搭乗時間を待つだけとのんびりくつろいでいたところ、運航予定電光版に『18時25分発ANA神戸・到着機遅延のため出発30遅れ』との表示。保安検査を通過し搭乗口で待つも状況に変化なく、19時過ぎに搭乗まもなく出発したものの、機長アナウンスで「飛行航路は向かい風で、気流の安定した所を選んで飛行していますので神戸着は21時25分頃を予定しています。」との説明。通常なら20時半に着くのに1時間の遅れ、でも安全第一を実感しました。今回のルスツスキー場は、ウエストMt, イーストMt, Mtインゾラのほとんどのコースが中級者向けで滑りやすく、ファミリー層や修学旅行生それに私たちのような初滑りのスキーヤーにふさわしいスキー場と思いました。今回のツアーを通して、全国旅行支援と地域応援クーポンの交付がありました。全国旅行支援は旅行代金と差引ですが、地域応援クーポンはホテル限定も含め1泊あたり4000円の計3泊分12000円配布されました。でも原資は税金でしかも消費したところはホテルと空港内であり、個人の事業者への応援になったのかと考えると、私たち年金生活者には嬉しいですが複雑な心境になりました。

ゆきどり 豊田 威

大スキー九条・兵庫の会スキーツアー 2023年1月6日夜出発9日夜帰着 戸隠スキー場 参加者27名 兵庫スキー協からはスタッフと参加者で多くのクラブ員が参加しました。天候は1日目快晴、2日目小雪曇り、3日目曇りと大変良かったです。積雪は少なかったですが全コース滑ることが出来十分にスキーを楽しめました。3日目は半日なのでスキー組と戸隠神社お参り蕎麦組に分かれて行動しました。お楽しみ抽選会等もあり楽しいツアーでした。



関西ブロック初滑り研修会

開催日:12/17(土)~12/18(日)

場所:志賀高原一ノ瀬ゲレンデ

参加者(敬称略): エグレット姫路

4名/水戸、村田、村原、上月、アクティブ1名/朝倉、ドナルドダック2名/五島和、五島敦(記録)

今回の指導員研修は、1.5日間にぎゅっと濃縮された日程で行われました。研修は5班34名、一般講習4班23名、指導員養成1班3名の総勢60名が初滑りで汗を流しました。私の5班(講師:野瀬技術部長)は、ビデオ撮影しますからねと、1日目基礎(横滑り、プルークボーゲン、ベーシック、初歩パラレル)と夕食後のビデオ講習、2日目0.5日も洗練のパラレルとビデオ講習でした。ビデオ講習会では、それぞれの滑りを解説してもらっただけでなく、練習内容についても質疑応答し白熱した講習会となりました。今年のシーズンテーマは「長い谷回り」それを意識しての基礎は、ターン前半の山側への足の開き出しで雪面抵抗を受けてしっかりと減速すること、雪面に三日月を残すこと、手で回し込まないなど様々なご指導をいただきました。私の驚きポイントは、「谷回りの幅でターンの幅が決まる」と言われたことです。そんな風に考えていなかったもので目から鱗でした。あと五十肩の人には朗報です。腕は上げられないけれど、スキーを滑るには後傾にならずに済みますよ！

報告 五島敦子 (ドナルドダックSC)

第44回冬休み少女スキー&年末スキー報告 12月26日昼出発～29日夜帰着 志賀高原一ノ瀬
 新型コロナの感染が増える中で開催が危ぶまれましたが、感染対策をしっかりと行って開催しました。ここ数年県スキー協行事で怪我人が出ていましたが、今回は一人も出なく無事に終了しました。参加者は中高生5名・大人23名(内スタッフ7名)の28名でした。残念ながら3年ぶりの開催とコロナの感染状況等もあり小学生の参加者はありませんでした。



27日は曇り、28日は快晴中高生のクラスは横手山頂まで行き渋峠スキー場などで思いっきりスキーを楽しみました。

26日27日は全国旅行支援と旅行代金と地域応援クーポンが適用されました。



参加費の減額とクーポン券を配布しました。クーポン券で昼食・お土産・リフト代等々に使用しました。反省点としては27日朝に各ゲレンデのリフト運行状況を把握していなかったことです。思っていたほど積雪は多くなく。まだ開いてないゲレンデやコースがありゲレンデの選択に苦労しました。指導員の奮闘で十分に楽しみました。

